

図書館だより

愛知みずほ大学瑞穂高等学校
瀬木学園図書館 卒業記念号
2018年2月28日

多読賞表彰

一年間で30冊以上の本を借りた方を表彰します。
受賞者の方には、賞状と賞品を贈呈致します。
(2017年4月1日～2018年1月23日の貸出記録より)

- 1位 7組 ※※※※※ 344冊
- 2位 5組 ※※※※ 207冊
- 3位 9組 ※※※※ 84冊
- 4位 4組 ※※※※ 70冊
- 5位 7組 ※※※※ 67冊
- 6位 9組 ※※※※ 66冊

- 7位 9組 ※※※※ 62冊
- 8位 5組 ※※※※ 50冊
- 9位 2組 ※※※※※ 44冊
- 10位 2組 ※※※※ 35冊
- 11位 2組 ※※※※ 33冊
- 12位 1組 ※※※※ 30冊

図書館クイズ 全問正解者発表!

図書館だよりの中でクイズを出題しました。全問正解したふたりには、賞状と賞品を贈呈致します。

- 4組 ※※※※
- 7組 ※※※※※

本の虫からの贈る言葉

「螢の光」と「窓の雪」は、「貧しくても懸命に勉強すること」を表す一対の言葉です。この言葉の源は、中国の晋国時代の故事です。車胤(しゃいん)という若者は、貧しさのせいで明かりを灯す油を買えなかったので螢の光を頼りに勉強し、孫康(そんこう)という男性も窓から雪明りを取り入れて読書をした。という話です。ここから苦学することを指す「螢雪」という言葉が生まれ、日本にも伝わりました。そして明治期、文部省の人はこの故事を「真剣な学び」の象徴として歌に取り入れ、唱歌『螢の光』に「螢の光 窓の雪」という詩句を織り込んだそうです。実際にはこのような光の用い方は不可能なので、真実味がない、つまらない歌詞と見ることもできますが、見落としてはならない点があります。


一つはそこに、「螢」「雪」という夏と冬の風物詩が登場することです。この歌の主題は「何年も通った学校との別れ」であり、その年月の長さやその間に味わったことを振り返るには、幾度もめぐった季節の風景を思うものです。「螢」「雪」の二語はそうした回想へと誘ってくれます。もう一つは、「ほたるのひかり まどのゆき」という発音です。特に各単語の頭にある「ほ」「ひ」「ま」「ゆ」に響きの美しさがあります。これらが私たちの耳や口を楽しませ心にも響いてくるはずですよ。

歌詞に宿る日本人の心を感じられたでしょうか。何気なく口ずさむ一語に先人たちの思いがふれています。時に和の心を思い出すのもいいのではないのでしょうか。

(参考文献:「日本の童謡・唱歌をいつくむ」高橋こじ著)

螢の光 詩 稲垣千穎 / 曲 スコットランド民謡

一 螢の光 窓の雪 重ねつつ
ふみ読むお月日 重ねつつ
あいつが年も ずぎの戸を
あけてしぞ今朝は 別れ行く
止まるも行くも 限りとの
かたみに思いうちよる
かたみに思いうちよる
心のほしをかり一言に歌うなり




ベストセラー本

ここでは2015年から2017年の各年にベストセラーになった本を紹介します。
皆さんは、何冊読みましたか? (参考: TOHAN 年間ベストセラー総合部門)

2015年「テロ多発」

- 1位 火花
- 2位 フランス人は10着しか服を持たない
- 3位 家族という病
- 4位 知恵の法
- 5位 聞くだけで自律神経が整うCDブック
- 6位 置かれた場所で咲きなさい
- 7位 新・人間革命 第27巻
- 8位 一〇三歳になってわかったこと
- 9位 人間の分際
- 10位 学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話

2016年「リオオリンピック開催」

- 1位 天才
- 2位 おやすみ、ロジャー
- 3位 正義の法
- 4位 ハリー・ポッターと呪いの子
- 5位 君の臍臓をたべたい
- 6位 どんなに体がかたい人でもベターッと開脚できるようになるすごい方法
- 7位 嫌われる勇氣
- 8位 羊と鋼の森
- 9位 新・人間革命 第28巻
- 10位 コンビニ人間

2017年「北朝鮮ミサイル発射!」

- 1位 九十歳。何がめでたい
- 2位 伝道の法 人生の「真実」に目覚める時
- 3位 蜜蜂と遠雷
- 4位 儒教に支配された中国人と韓国人の悲劇
- 5位 さんねんないきもの事典
- 6位 うんこかん字ドリル
- 7位 騎士団長殺し
- 8位 応仁の乱
- 9位 新・人間革命 第29巻
- 10位 モデルが秘密にしたがる体幹リセットダイエット



*卒業後は閲覧のみですが瀬木学園図書館を利用することができます。来館の際はカウンターに申し出てください。